



山田学区 まちづくり計画

平成30年4月（改訂）

山田学区まちづくり協議会

1 目的

この計画は、山田学区が地域住民や各種団体等の協力と協調のもとに、多様化していく地域課題を自らの地域で解決し、住み良いまちづくりに取り組むための行動指針として策定します。

2 計画期間

平成30年度～平成34年度

3 地域の現状と課題

山田学区は、草津市の西部に位置し、西側は琵琶湖に面し、古くから水田が広がり、特に旧草津川の河口付近では、肥沃な土地に恵まれた都市近郊型の野菜団地として、ビニールハウス群が立ち並ぶ大規模な畑作地帯となっています。

全体的には、こうした田園地帯を中心とした緑豊かな学区であるが、東部地域においては市街化の伸展の中で宅地化が進み、大津湖南幹線等主要道路沿いには、各種の商業施設が立地するなど、都市化が進んでいます。

平成29年4月末現在で、人口は7,892人、世帯数は3,213世帯となっていますが、市内で最も人口減少が多く、この5年間で人口が約4%減少し、高齢化率は市内で3番目の29.2%、年少人口比率は最も低い11.7%で、少子、高齢化の進んだ地域となっています。(草津市住民基本台帳 H29.4.30現在)

当学区では、こうした高齢化の進展などによって一人暮らしや高齢世帯が増加し、このことが地域活動(まちづくり)の担い手不足につながり、地域コミュニティの希薄化なども相まって、ご近所力の低下を招いています。

また、木造家屋が密集し、地震災害時の被害が市内で最も大きい地域とされていることから、地区防災計画の策定に取り組むなど、災害時の対応も地域の大きな課題となっています。

4 地域の将来像(めざす姿)

～笑顔のまち 住みよいまち やまだ～

5 まちづくりの基本方針

- 安全・安心で住み続けたいまちづくり
- 元気で笑顔があふれるまちづくり
- ひとにやさしく、ひとが輝くまちづくり
- 透明性の高い民主的な協議会の運営

6 地域の将来像実現へ向けて

草津市や地域の各種団体と協働し、地域再生法などの活用を図りながら「活気あふれるまちづくり」の実現を目指します。

◆事業計画

①安全・安心で住み続けたいまちづくり

活動分野	事業名	事業内容	事業年度		担当	備考
			H30	H34		
防災対策	地区防災計画の策定・改訂	地震初動編に引き続き、災害時の活動体制、役割分担など地域住民等の自発的な防災活動をまとめた地区防災計画を策定する。	←	→	防災部会	
	自主防災組織の活性化	各町の自主防災組織の情報交換の場を設け、問題点や課題を出し合い地域の防災力の向上に結びつける。(活動状況の見学も取り入れる。)	←	→	防災部会	
	学区防災訓練の実施	防災員や町会長、各町自主防災員、防災部会員を中心に防災訓練を実施し、防災意識の高揚、地区防災計画の検証を行う。	←	→	防災部会	
	学区防災員の養成	防災員養成講習を実施し、各町内会や学区の防災活動を担う人材の養成を行う。	←	→	防災部会	
防犯・交通	防犯マップの活用	危険箇所を落とし込んだ防犯マップを活用した防犯対策を推進する。	←	→	安心部会	
	通学路、生活道路の安全確保	通学路については、町内会や学校、アドバイザーなど関係者の協力の下で、安全点検や対策を検討し、関係機関への要望活動などにつなげていく。生活道路についても、高齢者の安全確保の観点から同様の取組みができるよう検討する。	←	→	安心部会	
	学区内啓発看板の適正な管理	管理基準に基づく適正な管理を徹底し、劣化看板について設置団体に撤去や修理を要請する。新規の看板についても、管理基準に基づいた設置を啓発する。	←	→	安心部会	
環境	環境美化・保全活動	ゴーヤによる緑のカーテンで環境負荷の低減、草津川クリーン作戦への参加、ヨシ狩りなど環境美化・保全活動を地域の運動として展開する。	←	→	安心部会、団体	
福祉	福祉防災マップの作成、更新	緊急避難等が必要になったときに活用できるマップを作成する。	←	→	健康福祉部会、団体	
	高齢者安心ガイドマップの活用	認知症の状況に対応する支援内容等を一覧にしたガイドマップを活用する。	←	→	健康福祉部会、団体	

②元気で笑顔があふれるまちづくり

活動分野	事業名	事業内容	事業年度		担当	備考
			H30	H34		
ふれあい	山田ふれあいまつりの実施	ふれあいの場を提供し、様々な交流を通して地域の絆を深める地域イベントとして実施する。	←	→	実行委員会、団体	
健康増進	健康推進事業の実施	健康や食育をテーマにした講座の開催や各種イベントを活用した学区内の健康づくりの気運を盛り上げる取り組みを進める。	←	→	健康福祉部会、団体	
	やまだウォークの実施	学区民の健康づくりを支援する取組みの一つとして、ウォーキングの普及・啓発を図る。(3種類のマップの活用)	←	→	体育部会	
子どもの活動	わんぱくひろばの開催	地域の大人と子どものふれあいを大切に、子どもたちが土曜日の集える居場所づくりとして、学区内各種団体の協力のもとで実施する。	←	→	地域協働各校部会	
	アドベンチャーハウスの実施	夏季における子どもたちの宿泊体験(1泊2日)事業として実施する。	←	→	地域協働各校部会	
	山田ふれあいまつりに参加	山田ふれあいまつりのコーナーに、子どもたちが自ら企画した内容で参画し、コーナーの運営を行うことで、貴重な体験と地域住民との交流を深める。	←	→	地域協働各校部会	

③ひとにやさしく、ひとが輝くまちづくり

活動分野	事業名	事業内容			担当	備考
			H30	H34		
人権学習	人権研修の実施	充実した町内学習懇談会に結びつけるため、系統的な研修(第3・4講座)と、懇談会終了後の総括研修を実施する。	←	→	総務委員会人権グループ	
	町内学習懇談会の開催	人権が尊重された住みよい地域社会を実現するため、各町単位で、町内学習懇談会を実施する。	←	→	総務委員会人権グループ	
	館外研修の実施	人権学習として、人権センター等現地に出向いて研修を実施する。	←	→	総務委員会人権グループ	
青少年育成	青少年育成講座の開催	子どもの成長段階に応じた連続講座を開催する。	←	→	青少年育成部会	

④透明性の高い民主的な協議会運営

活動分野	事業名	事業内容			担当	備考
			H30	H34		
情報発信	まちづくり通信「やまだ」の発行	協議会活動や地域情報を広報するまちづくり通信を発行する。	←	→	総務委員会広報グループ	
	ホームページの運営・管理	協議会活動や地域情報を発信するホームページを運営・管理する。	←	→	総務委員会広報グループ	
まちづくり	まちづくりトークの実施	市長とのトークを通して、地域の課題解決に結びつける。	←	→	総務委員会総務グループ	
	館外研修の実施	より充実したまちづくりを展開するため、先進地の研修を実施する。	←	→	総務委員会総務グループ	
その他	地域まちづくりセンターの管理運営	指定管理者として、まちづくりセンターの管理運営をする。	←	→	総務委員会総務グループ	